「血管脆弱性疾患と片頭痛の関係に関する研究」への協力のお願い

はじめまして。

近畿大学大学院総合理工学研究科理学専攻遺伝カウンセラー養成課程の

中村朱美(なかむらあやみ)と申します。

以下の説明文書をご理解の上アンケート調査にご協力頂けたら幸いに存じます。

1. 血管脆弱性疾患と片頭痛の関係に関する研究の協力について

　この説明書では、まず本研究についてご理解いただくための説明を行います。説明を十分に理解し、本研究においてアンケートを回答しても良いと考えられた場合には、アンケートの最初の同意欄にチェックを入れることにより、同意したという意思表示をしていただくようにお願い致します。

1. 研究の目的と意義

慢性頭痛の中でも片頭痛は、日常生活に影響を及ぼすことの多い頭痛です。片頭痛発作の前兆期には、脳血管収縮による脳虚血状態であり、それに続き血管の異常な拡張がおこり血管に分布している痛覚神経が刺激された結果、激しい拍動性の頭痛が生じると言われています。今回、血管強度や血管壁の透過性に影響する血管の脆弱化が、遺伝学性血管脆弱性疾患と関連があるかという疫学的頻度、病態生理の解明を目的としています。また、この遺伝学性血管脆弱性疾患の疫学的調査は、病態を解明のために必要不可欠であり、意義のある研究です。

1. 研究の方法

近畿大学病院の患者ならびに、以下の各種患者会代表に依頼して頭痛のアンケートをお願いします。｛ロイス・ディーツ症候群、マルファン症候群、ファブリー病、神経線維腫症１型、CADASIL、常染色体優性遺伝性多発性嚢胞腎、結節性硬化症、ROSAH症候群、発作性ジスキネジア、皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症（CADASIL）、COL4A1/A2障害、脳白質ジストロフィーを伴う網膜血管障害（RVCL）｝

研究へ協力することに同意して頂ける場合は、別紙に記載されているURL/QRコードのアクセスによりアンケートサイトにお進み頂き、回答をお願い致します。

アンケートでお聞きする内容は、基本情報に関する質問、頭痛スクリーニングを基にして質問、前兆のある頭痛に関する質問、前兆のない頭痛に関する質問です。

1. 研究の期間

本研究は、近畿大学大学院総合理工学研究科生命倫理委員会承認日～2024年3月31日までとします。

1. 予測される結果（利益と不利益）について

アンケート調査は無記名式で行われますので個人が特定される危険性はありません。回答時間は10～15分程度かかりますが、Web上で回答できますので、ご都合の良い時間と場所でご回答ください。また、スマートフォンからの回答も可能です。

1. 研究協力の任意性と撤回の自由について

研究への参加は任意です。ご協力いただかない場合もなんの不利益もありません。なお、無記名式のアンケートですので、回答完了後は、回答を削除することができませんのでご了承ください。

1. 研究に関する情報公開について

本アンケートの内容を、個人を特定しない形で学会などに発表することや論文にすることがあります。

1. 個人情報などの取り扱い

個人の情報を保護することは、刑法で定められた義務です。無記名式のアンケート調査ですので、個人が特定できるような情報は入手しません。

1. 記録・データの保存

本研究で得られたデータは、回答者の同意の上で研究終了まで、近畿大学理工学部生命科学科ゲノム情報神経学研究室にて厳重に管理、保管します。

1. 費用について

本検査は研究の範囲で行われますので、その費用をあなたが払う必要はありません。なお、研究データの提供に関しても、あなたに謝礼をお支払いすることは致しませんのでご了解下さい。

1. 問い合わせ先

この研究についてのお問い合わせがある場合は、下記までご連絡下さい。

研究担当者名：中村朱美

メール：[2233310150r@kindai.ac.jp](mailto:2233310150r@kindai.ac.jp)

電話：080-1465-6270

研究責任者名：西郷和真

研究機関名：近畿大学　理工学部　生命科学科　ゲノム情報神経学研究室

電　話：06－4307－436